

第4回町議会定例会

平成28年第4回町議会定例会が、12月13日に開会され、16日に閉会しました。

この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、一般質問のほか、条例の制定や一部改正、一般会計補正予算など、議案15件、同意2件について審議しました。

おもな内容については、次のとおりです。



◆長万部町農業委員会の委員の定数に関する条例

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、長万部町農業委員会の選挙による委員の定数及び職員の設置に関する条例の全部を改正するとともに、証人等の費用弁償に関

する条例の引用条項を改めるものです。

◆長万部町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

平成二十八年人事院勧告に伴い、介護休暇の分割、介護時間の新設、育児等を行う職員の時間外勤務等の制限に係る子範囲の拡大などを行うものです。

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、育児休業の対象に一定要件を満たす非常勤職員の追加や、対象となる子の範囲の見直し等を行うものです。

◆町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成二十八年人事院勧告に伴い、期末手当を○・一月増額するものです。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成二十八年人事院勧告に伴う改正です。

◆長万部町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

公務のために旅行する職員

等に支給する旅費のうち急行列車の座席指定料金について条文明確化するものです。

◆長万部町税条例の一部を改正する条例

所得税法等の一部改正に伴い、特例適用利子等及び特例適用配当等を有する者に対し、当該特例適用利子等の額又は特例適用配分等の額に係る所得を分離課税するため、所定の改正を行うものです。

◆長万部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成三十年度に国民健康保険事業が北海道に移行されることから、限度額も国の基準と同額にする必要があり、また、国民健康保険事業の適正な運営を図るため、国民健康保険税限度額を改め、併せて、所得税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税の所得割の算定及び軽減判定に用いる総所得については、特例適用利子等の額を総所得金額に含めるという規定を整備するものです。

◆一般会計補正予算（第十一号）

平成二十七年年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ六千七百七十七万六千円が追加され、予算総額四十六億七千七百六十七万八千円となりました。

◆国民健康保険特別会計補正予算（第四号）

平成二十八年年度国民健康保険特別会計予算に歳入歳出それぞれ五百二十五万八千円が追加され、予算総額十億八千二百八十七万九千円となりました。

◆介護保険特別改正補正予算（第二号）

平成二十八年年度介護保険特別会計予算から歳入歳出それぞれ百九十七万七千円が減額され、予算総額七億五千二百二十四万円となりました。

◆公共下水道事業特別会計補正予算（第二号）

平成二十八年年度公共下水道事業特別会計補正予算に歳入歳出それぞれ四十四万四千円を追加され、予算総額三億二千三百十九万四千円となりました。

◆ガス事業会計補正予算（第二号）

収益的収入の三万九千円が減額され、予算総額一億六千万一千円に、また、収益的支出の十一万七千円が追加され、予算総額一億八千三百三十七万七千円となりました。

◆水道事業会計補正予算（第二号）

収益的収入の五万二千円が減額され、予算総額一億六千

五百二十二万二千円に、また、収益的支出の二十一万一千円が追加され、予算総額一億六千五百八十四万一千円となりました。

◆病院事業会計補正予算（第二号）

収益的支出に二百十五万一千円を追加し、予算総額六億六千八百三十四万円となりました。

木幡町長の

行政報告

= 平成28年12月13日 =

第四回町議会定例会の開催にあたり、日頃からの町政運営に対する議員各位のご協力に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

地方財政は引き続き厳しい状況でありますが、計画した各種施策や事業等は、みなさんのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。引き続き、本年度

の残された行政課題の解決に努めてまいりますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます、行政報告に移らせていただきます。

防災対策

本年度の防災訓練は、十月五日に町内全域を対象とした全町一斉津波避難訓練を実施いたしました。訓練には一千九十五名の方々が参加され、避難経路や避難に要した時間の確認を行うとともに、アンケート調査にご協力をいただきました。

十一月一日には高砂地区を対象とした土砂災害避難訓練を実施しております。訓練では福祉センターへの避難に続き、函館建設管理部職員による土砂災害に関する講話があり、町民十九名の方々の参加をいただきました。

また、十二月一日には株式会社セブンイレブン・ジャパンと、地域見守り活動や災害時の物資供給などを目的とした協定を締結しております。

今後とも、住民の安全・安心を守るためのまちづくりを進めてまいります。

アスベスト対策

アスベストを含む煙突用断熱材については、損傷や劣化による粉じん飛散のおそれがあることから、本町の所有する全施設について図面による調査を実施したところ、十二施設での使用を確認しております。

現段階では、煙突素材の崩落等は見受けられませんが、これらの施設で使用する断熱材の検査や、空気中における粉じんの濃度測定を行うための費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

東京理科大学関係

去る十月三十日に開催された全国から同窓生が集う「東京理科大学ホームカミングデー2016・イン・葛飾」では、ふるさと納税のパンプレット配布のほか、ホタテのバター焼きとホタテ入り焼きそばの提供など、長万部町のPR活動を実施いたしました。肌寒い天気の中ではありましたが、いずれも完売となりました。

る人気となりました。

また、理科大との連携によるアグリビジネス事業につきましては、理科大隣接地でのレタスなどの本格的栽培の前段として、事業展開後の経営の安定化を図るため、ヒートポンプなどの再生可能エネルギーによる熱源や収益の確立を優先する段階となっております。



これらの第一歩として、本町が理科大へ供給している温泉送水管が、湯あかの付着などにより、湯量の減少や湯温の低下を招いていることから、改善のための調査・研究として、新たに高断熱・高性能温泉水送水管の敷設を十二月二十四日を工期に施工中であります。

引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組みます。

北海道新幹線関係

平成二十四年六月に認可された新函館北斗・札幌間の工事実施計画では、長万部駅周辺の大部分で地上を走行することから、市街地を分断する構造となっております。

このため、北海道新幹線の建設主体である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）では、市街地への影響を極力小さくするよう、長万部駅周辺の高架化に向けた検討が進められており、その一環として、今年度、高架化に伴う環境への影響についての調査が行われ、その調査結果となる環境影響評価書は、十二月一日から二十八日まで、役場などで縦覧されております。

本町といたしましても、まちづくりを進める上で高架化は必要と考えており、今後とも関係機関への働きかけを行ってまいりたいと考えております。

また、本年七月に設置した長万部まちづくり推進会議においては、将来の物産販売機能の向上を目指し、総合文化祭において漬物やホッキ飯を

試食していただく「おしゃまんべマルシェ」を開催したほか、町内の隠れた観光資源を発掘して磨き上げていく仕組みづくりを学ぶため、黒松内町においてモニターツアーを実施するなど、十四年後の長万部駅開業を見据え、様々な活動を積極的に展開しております。

本町では、今年度、広域の玄関口としての機能強化、中心市街地の再生といった取組を進めていく上での方策となる新幹線駅周辺整備計画を策定する予定であり、今回の活動を参考としながら、より実効性の高い計画となるよう取組を加速させてまいります。

移動町長室

町政について町民の方々と自由に意見を交換し、より住み良いまちづくりを進めるため、「移動町長室」を十月十二日から町内四会場で開催いたしました。

今回の移動町長室には、延べ七十人の方々が出席され、台風10号での避難所設置に関する課題や防災訓練での対応など、災害対策全般について、自然環境や医療問題、地

域交通の改善など広範囲な分野において、多くのご意見・ご要望などをいただきました。これらの貴重なご意見・ご要望を今後の町政運営に活かしてまいります。



葬祭場改築計画

本町の葬祭場は、昭和五十二年頃から供用を開始して約四十年となりますが、火葬炉等は経年劣化により維持管理費や補修費用が増嵩し、施設全体も老朽化している状況であります。

こうしたことから、本年度、火葬炉の更新に伴う施設増改築を目的とした耐震診断を実施した結果、既存施設の耐震性能に問題がなかったため、改築にあたっては既存施設を最大限利用し、費用の縮減を

図ることといたしました。つきましては、本事業推進に係る実施設計費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

生活環境関係

本年度四月から十月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約一千五百四トンで、前年度同期と比較し、約十四トン減少しております。

また、ごみ減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、長万部町地域女性団体連絡協議会のご協力をいただき、五月・七月・十一月に実施し、三百四十五kgの衣類を回収いたしました。次回は、来年二月を予定しております。

廃食用油は、本年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに回収ボックスを設置して、現在までに六百十二リットルを回収しており、使用済小型家電についても、無料回収ボックスを役場庁舎内に設置し、百二十三kgを回収しております。

町民のみなさんには、今後

ともごみの減量化やりサイクルへのご協力をお願いいたします。

臨時福祉給付金

本年十月から、住民税非課税者を対象とした簡素な臨時福祉給付金と、低所得者の障害・遺族基礎年金受給者向け給付金の申請受付を開始し、十一月末で延べ五百四十七人への支給を完了しております。

来年三月からは、引き続き消費税増加分の影響緩和のため、住民税非課税者を対象とした「経済対策臨時福祉給付金」の申請を開始する予定となっております。給付対象と思われる方には申請書を送付するとともに、町広報で広く町民のみなさんへ周知し、適切に事業を進めてまいります。

なお、関連する費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

町民の健康推進

本年度取り組んでおります歯科保健対策は、九月に町内の幼稚園と二箇所の保育所で歯磨き教室を実施いたしました。

教室では、四〜五歳児六十三名を対象に歯磨きの大切さや正しい歯磨きの方法について話し、歯ブラシと歯磨きカレンダーを配布いたしました。

今後も幼稚園、保育所などと連携し、歯科保健対策を推進してまいります。

インフルエンザ等の予防について

高齢者インフルエンザ予防接種は、十二月一日までに八百十五人から申請がありました。インフルエンザ流行の兆しがあることから、うがいや手洗い、手指消毒、外出時のマスク着用等の励行を促し、予防の徹底を図ってまいります。このほか、ノロウイルスやロタウイルスによる感染症にも備え、うがいや手洗い等の励行を勧めてまいります。

高齢者福祉関係

地域敬老会は、八月二十九日を皮切りに二十七地域二十四会場で実施され、対象者一千二百九十八人にに対し六百十四人の出席をいただき、出席率は約四十七・三%となりました。

各会場とも、町内会等のみなさんによる特色ある料理の提供や、趣向を凝らした催しなどにより、出席された方々から大変喜ばれておりました。

町内会等のみなさんには、ご苦勞をおかけしますが、高齢者の集まる場の一つとして継続されることをお願いいたします。

また、昨年から長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、九月十二日から十四日までと十六日から十九日までの計七日間、老人福祉センターを無料開放したところ、三百八十八人が利用されました。

十一月二十四日には、ファミリースポーツセンターにおいて、日頃の運動不足解消と会員の協調、親睦の輪を広げることを目的に、老人クラブ運動会が、十二クラブ百十三人の参加により開催されました。

冬期福祉給付金（福祉灯油）

本格的な冬に向かい、電気料金の高止まりもあることから、高齢者や障がい者などで低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、冬期間の増嵩経費に対する経済

支援として、前年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

農業関係

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、十月十五日の調査では、牧草は平年並の収量となっておりですが、サイレージ用トウモロコシは天候が不安定で作業がやや遅れ気味となっております。

生乳生産量は、四月から十月まで約六千二百三十三トンを出荷し、前年に比べ約五十五トンの減となり、乳代は約五億四千三百七十六万円で、前年に比べ約八十万円の減となっております。

黒毛和牛の四月から十月までの販売頭数は百五十四頭、販売金額は一億二千八万円で、前年同期と比較して、販売頭数は同数であります。市場価格が高値で安定していることもあり、販売金額では二千五百八十一万四千円の増となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実

施しておりますが、十月二十七日に下牧が完了しております。

この間の入牧延べ頭数は五万六千七百七十八頭で、前年に比べ一万四千九百十四頭の減となりました。

新規就農者対策としては、十一月十二日に東京都、十一月二十六日に札幌市で開催されました「新・農業人フェア」に長万部町のブースを出展し、長万部町のPRや就農への情報発信を実施しております。

林業関係

町有林一般造林事業では、森林環境保全整備事業で実施した静狩地区の地拵・植栽事業三ヘクタールは、十月十七日に完了しております。

漁業関係

本町のホタテ貝養殖漁業での十一月末現在の種苗生育状況は、へい死・変形等が少なく、比較的良好に推移しておりますが、昨年は冬から春の耳吊り時期にかけて変形・欠殻等が発生しており、また、

本年度は成貝の弊死率が高く、最盛期を迎える時期に水揚量の減少が懸念されておりますので、引き続き、渡島北部地区水産技術普及指導所等各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。

商工観光関係

中小企業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、中小企業の健全育成と経営安定のため、様々な国や道の金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定等の窓口の設置を行っております。

本年度上期の観光客入り込み数は、三月二十六日の北海道新幹線開業に伴い、五月の大型連休より本州からの観光客を中心に順調に増加しており、九月末までは前年度を上回る状況で、上期全体としては、前年度に比べ一・二%加

して、約三十一万五千人となっております。

また、観光客誘致事業として、札幌市で開催されましたサッポロビアガーデンふるさとPRステージやオータムフェスト2016に参加したほか、東京都葛飾区で十月二十一日から二十三日に開催された第三十二回葛飾区産業フェアへ昨年に引き続き出展し、長万部町の観光PR並びに特産品の販売を行いました。これらのイベントには、町のキャラクター「まんべくん」も参加し、誘客効果を高めました。

労政関係

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

消費者相談関係

近年、悪質商法や還付金詐欺、送り込み詐欺など次々と新しい手口による消費者問題

が多く発生しており、啓発活動が欠かせない状況となっていることから、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため「消費生活相談員」を配置しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、町広報を中心に消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

建設事業

建築事業では、とみの森遊歩道安全柵設置工事は工期内の九月十一日に、静狩振興会館外壁外修繕工事につきましても工期内の十一月二十九日に完成しております。

その他、公共施設や町営住宅の修繕工事は、計画的に実施しております。

土木事業では、町道中山大通線外舗装補修工事、町道静狩中央線外舗装補修工事及び橋梁長寿命化修繕事業の一環として実施した長万部中央跨線橋海側階段修繕工事につきましても、工期内に完成して

おります。

また、第三回臨時会において補正予算の議決をいただいた、J R敷地内排水路整備工事につきましては、十二月下旬までの工期で施工中であります。

第六回臨時会において補正予算の議決をいただいた長万部中央跨線橋応急修繕工事及び長万部中央跨線橋橋梁緊急点検業務委託につきましても、三月下旬までの工期で発注済みであります。

また、冬期雇用安定対策事業として実施する、富野川一号支川床下げ業務の委託料について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と十一月十五日に委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

第二回定例会において議決をいただきましたロータリ除雪車は、十一月三十日に納入されております。

公園事業では、今年度の長万部公園キャンプ場の利用は、十月三十一日で終了いたしました。キャンプ場利用者は二千七百三十二人で、昨年度に比べ十七・〇%の増となっております。バンガロー

利用棟数は二百七十七棟で、昨年度に比べ十三・一%の増となっております。

また、あやめ公園パークゴルフ場の利用は十一月六日で終了いたしました。パークゴルフ場利用者は六千二十五人で、昨年度に比べ十五・五%の減となっております。

公共下水道事業

終末処理場長寿命化計画に基づく更新工事の管理棟ドア及び仮壁交換工事は、二月二十八日の工期で施工中であります。

ガス事業

ガス本支管改良工事の中山大通線工区、本通線・大町三号線工区、本町五号線工区は、十一月三十日に完了しております。

水道事業

長万部浄水場一号ろ過機ろ材交換工事は、九月三十日に完了しております。

シャクシャイン古戦場跡碑について

七月から旧国縫小学校グラウンド内で工事を進めてまいりました、シャクシャイン古戦場跡碑は九月下旬に竣工し、永年の念願がかなうこととなりました。



十月二十八日には、北海道アイヌ協会理事長をはじめ、長万部アイヌ協会、国縫自治会役員など五十人ほどが出席して除幕式を行ったところであります。

今後は町民のみなさんにも歴史を刻んだ激戦の跡を訪れ、祈りの手をあわせていただければと思っております。

消防関係

今年十一月末日現在の火災

発生件数は四件、救急件数は二百三十八件で、うち、ドクターヘリでの搬送は五件となっております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中に、病院や福祉施設、ホテルや旅館、大型店舗など、不特定多数の人が出入りする施設の防火査察、女性消防団員による街頭啓発や防火訪問を実施いたしました。

救急関係の事業では、インターシップの受け入れをした長万部高校の生徒に対し普通救命講習を実施したほか、AEDの取り扱いなど一般救急講習を実施し、学校や施設職員、理科大生など七十四名が受講されました。

消防団の事業については、十月五日の全町一斉津波避難訓練に七十六名の消防団員が参加し、避難誘導や救護支援などを実施いたしました。

また、コミュニティ助成事業を活用した消防団安全装備品整備事業として、救命ボート二艇、救命胴衣五十着、流水対策用胴付六足を各分団に配備し、長万部分団が長万部川において救命ボートの操作訓練を実施いたしました。



入居者募集

(有料広告)

● ● ● ● ● 御相談に応じます ● ● ● ● ●

正 堀川アパート

☎ 01377-2-2377 携帯 090-4872-6235

ストーブ・ベッド・その他完備、駐車場完備、敷金なし
月額 23,000円から45,000円まで